

## よくある質問

Q 入学するにはどうしたらいいですか。

A 入学の条件については、本校のホームページや愛媛県教育委員会のホームページを御覧ください。学校見学や教育相談は随時受け付けています。まずは、電話で気軽にお問い合わせください。

Q 大人になって、視覚障がいになりました。高校を卒業していても、盲学校を受検することはできますか。

A できます。既に高校の卒業資格を取得していても、高等部本科保健医療科、もしくは高等部専攻科医療科を受検することができます。

Q 学費のことが心配です。

A 幼稚部から高等部専攻科医療科の学費はそれぞれ異なりますが、経済状況に応じて国から学費の補助(就学奨励費)を受けることができます。通学のための交通費も補助対象になることがあります。寄宿舎に入舎する場合は、利用料が必要です。

Q 制服はありますか。

A 中学部と高等部普通科の生徒は指定の制服・体操服があります。男子は学生服、女子はブレザーとスカートですが、令和5年度から女子の制服にスラックスが追加されました。小学部と高等部本科保健医療科・専攻科医療科は制服がありません。

Q 子どもが小さいうちは、地元の学校に通わせたいと思っています。盲学校はいつから通い始めるのがいいですか。

A できるだけ長く、地元の学校に通わせたいという保護者もいらっしゃいます。地元の小・中学校で過ごすメリットと盲学校で学ぶメリットを十分に比較することが大切です。点字や歩行練習など、盲学校での専門的な教育についてしっかりと情報収集し、その上で入学時期を検討することをお勧めします。本校の教育相談を活用していただき、特別支援教育コーディネーターとともに児童生徒の最適を一緒に考えましょう。

入学案内、学校の様子などの詳細はホームページ、公式YouTubeをご覧ください。

松山盲学校 検索

## AccessMAP



学校ホームページ



公式YouTube



伊予鉄衣山駅から  
点字ブロックに沿って徒歩約15分



愛媛県立 松山盲学校

〒791-8016 愛媛県松山市久万ノ台112番地  
TEL 089-922-3655  
FAX 089-922-2893  
E-mail matsb-ad@esnet.ed.jp  
<https://matsuyama-sb.esnet.ed.jp>

# 愛媛県立 松山盲学校 学校案内

広がる可能性  
つなげる未来



Let's enjoy!!





## 校訓

信愛 自立 向上

## 教育重点目標

一人一人の「生きる力」を育む視覚障がい教育の推進  
- 授業改善、研修の充実による学校の専門性の向上 -

- ・ 県内唯一の視覚支援学校
- ・ 115年を超える歴史と伝統のある学校
- ・ 地域の視覚障がい教育を支援するセンター的機能を有する学校



## 松盲ならではの授業実践

### 幼児児童生徒のニーズに合わせた教育活動

視覚に障がいのある幼児児童生徒に対し、一般の小学校・中学校・高等学校に準じた内容の学習を行う教育課程と、他の障がいを併せ有する児童生徒に対する教育課程を設置し、個人のニーズや発達段階に応じた学習活動を行っています。

また、高等部保健医療科や専攻科理療科では、高度で専門的な授業を通して、国家資格を得るための知識や技術を身に付けます。

科や類型によって選択できる科目が異なります。

### 1 学習支援



#### ICT 機器は強い味方！

個人の見え方に合わせて、何が最適かを一緒に考えます。

視力、視野、明るさなど、見え方を左右する条件は、人それぞれで違います。松山盲学校では、一人一人の見え方に合わせた教材の工夫や視覚補助具を使用し、分かりやすい授業を実践しています。ICT機器に加えて、単眼鏡や拡大読書器など、見えにくさを補う道具（視覚補助具）を扱うスキルを身に付け、学力の向上を促します。

### 2 歩行指導



#### 「歩行訓練士」の資格を持つ教員がいます！

安全な歩行は、世界を広げます。

視覚障がい者にとって、街は危険がいっぱいです。点字ブロックの上を歩いたり、白杖で段差を確認したりしながら、安全に歩行することは、命を守る行為でもあります。安全に街を歩き、行きたいところへ一人でいくために、どうやって援助を依頼するかも大事なポイントです。歩行訓練士の資格を持った教員が指導し、将来の自立を助けます。

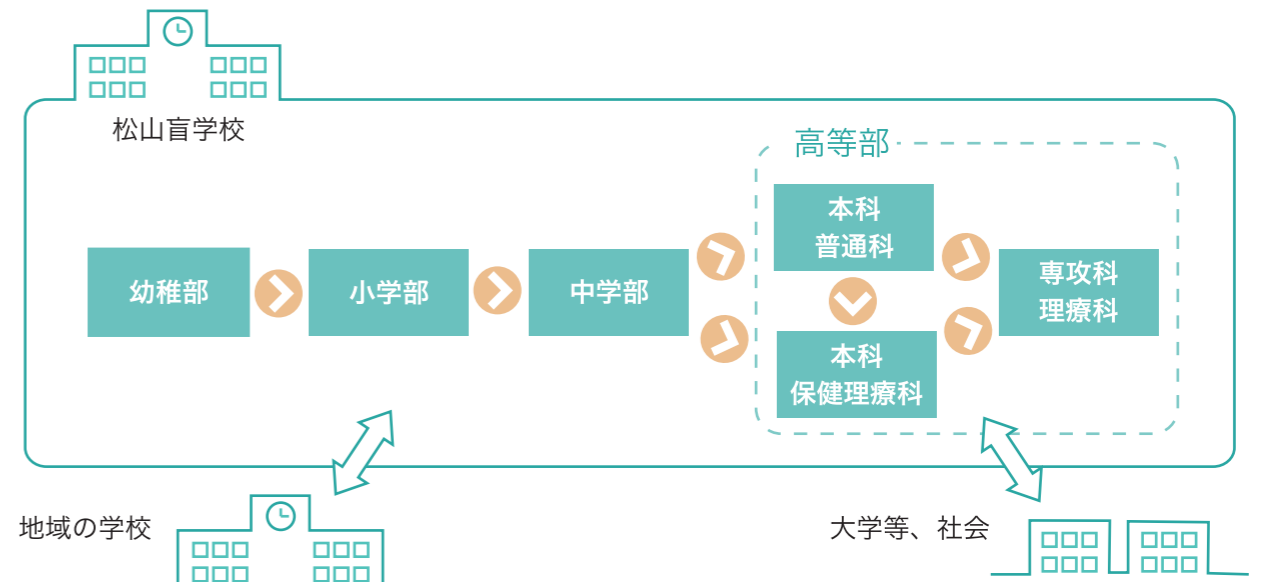
### 3 自立活動



#### 経験と知識が豊富な教員陣！

障がいによる困難を克服するための学習です。

自立活動の時間は、点字やパソコン、歩行や調理、自立した人生を送る上で必要なスキルを獲得する大切な時間です。基本的な生活習慣はもちろん、掃除や洗濯などの家事や、電子レンジを使った調理、公共交通機関を利用した移動など、できることを増やすことで自信が生まれます。年間計画を立て、個人の発達に応じて段階的に取り組みます。



## 幼稚部・小学部



幼稚部では、子どもたちの「知りたい」「やりたい」という気持ちを大切に育てます。植物を育てたり、ボール遊びをしたりする中で、様々な物に触る経験を通して好奇心を刺激し、身の回りの世界に関わっていかうとする力を育み、小学部での学びへとつなげます。

小学部では、点字の読み書き、そろばんなど視覚障がい者にとって必要なスキルはもちろん、学習の基礎・基本や生活習慣の基本を学びます。近隣の小学校との交流及び共同学習も実施し、集団で学ぶ経験も大事にします。

小学部 6年	国語	社会	算数	理科	音楽	図画 工作	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別 活動	自立 活動
	5	3	5	3	1~2	1~2	1~2	2~3	2	1	1 ※1	1	2

※4年生以上は年間10時間クラブ活動を実施する。  
※1…総合的な学習の時間

## 中学部



自分に合った学習法や生活スキルを確立し、学力と生活の質の向上を目指します。心も体も大きく成長するこの時期に、学校行事や生徒会活動を通じて生徒同士の交流を深め、協力して何かを達成する経験を積み、自己肯定感を育みます。また、自分の興味・関心を大切にしつつ、将来への職業観を養うための職場体験を実施し、社会の一員としての自覚を育てます。

自分たちの世界をさらに広げるために、県内・県外の中学校とのオンライン交流や近隣の中学校との交流及び共同学習の機会を積極的に設けています。

中学部 3年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術 家庭	外国語	道徳	総合	特別 活動	自立 活動
	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1 ※1	1	2

※1…総合的な学習の時間

## 高等部本科普通科



普通科での3年間は、自分の進路について具体的に検討し、自立に向けての基礎力を培う大切な期間です。進学（大学や専攻科理療科）、就労（公務員、一般企業、福祉サービス利用）など様々な進路希望実現に向けて、模擬試験、各種検定（愛顔のえひめ特別支援学校技能検定、実用英語技能検定、日本漢字能力検定）への挑戦をサポートし、大学・事業所見学、インターシップや現場実習を実施しています。



各教科の授業では、少人数のメリットを生かし、障がい特性に応じてICT機器を活用し、個別最適化した学習方法で学力の定着・向上を目指します。また、生徒会活動や、幼稚部から高等部までが合同で行う運動会や文化祭など、学校行事への積極的な参加によって、リーダーシップや協調性を養います。

近隣の高等学校（松山西中等教育学校・松山北高校中島分校等）との交流及び共同学習や、意見交換会などを行っています。他校の生徒との交流を深める中で、自らの視野を広げるとともに、視覚障がいについての啓発活動も行っています。中四国地区の盲学校とのオンライン交流も定期的に行っています。

I 類型 1年	現代の 国語	言語 文化	地理 総合	歴史 総合	数学 I	数学 A	科学と 人間生活	体育	保健	芸術	英語コミュニ ケーション I	論理・ 表現 I	家庭 総合	総合	HR 活動	自立 活動
	2	2	2	2	3	1	2	3	1	2 ※2	3	2	2	1 ※3	1	1
III 類型 1年	国語	社会	数学	理科	保健体育	音楽	美術	外国 語	家庭	情報	職業	道徳	総合	HR 活動	自立 活動	
	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)	2	2	(1)	(2)	(1)	4	1	1 ※3	1	(4)	

※2…音楽 I または美術 I から選択 ※3…総合的な探究の時間 \*( ) 書きの教科は、生徒のニーズに合わせて選択します。

## 高等部本科 保健理療科

中学校以上を卒業した方が対象で、高等学校の課程を履修するとともに、あん摩マッサージ指圧師の国家資格取得を目指して学習します。病気などの理由で、視覚障がいになった成人の方も入学することができます。ICT機器を活用し、個人の障がいに合わせた指導を行います。専門的な知識やノウハウを持った教員が、専門的な学習をサポートします。



## 高等部 専攻科理療科



「理療」とは、あん摩マッサージ指圧、鍼、灸をまとめた呼び名です。理療師は疾病によって患者さんの体表上に現れた反応を適切にとらえ、あん摩や鍼灸で刺激して、身体の不調を改善し、健康の保持・増進に寄与します。

専攻科理療科は3年間で理療師を養成する課程です。高等学校以上を卒業した方が入学し、解剖学や生理学などの基礎的内容から、診断学・治療学など応用的分野を学習し、卒業時には理療の国家試験を受験します。また、2・3年時には臨床実習を行います。実際に校外の患者さんを施術し、実践的な技能やコミュニケーション能力を養います。



## 視覚障がい児者の支援・相談センター

本校では視覚障がい教育の専門性を活かして、乳幼児から成人まで年齢を問わず、見え方に不安を感じる方やその関係者の支援・相談を行っています。

### 教育相談



#### 教育相談(定期・随時)

見え方に関する様々なニーズに応じて相談や情報提供を行います。相談内容によっては、週1回、月2回など定期的に来校し、視覚補助具の使い方を練習したり、ビジョントレーニングに取り組んだりします。学齢期の場合は、在籍する小中学校等と連携し、学習環境の整備や教材作成の協力も行います。



### センター的機能



#### 研修の協力・教材等の貸出し(随時)

小・中学校等での福祉学習や出前授業、教職員向けの研修会など、視覚障がい教育の理解や啓発に関わる研修について随時対応しています。また、点字器や白杖、触って分かるオセロや将棋などのレクリエーショングッズの貸出しもしています。



### 体験学習



#### 幼児体験学習(6月、10月)

見え方に不安のある幼児とその保護者や保育者を対象に体験学習を行います。

#### オープンスクール(8月)

地域の方を対象に、視覚障がいについて理解を深めてもらうための活動です。点字学習、全盲・弱視体験、ガイドヘルプの方法、視覚障がい者スポーツなどを体験することができます。

#### サマースクール(7月)・ ウィンタースクール(12月)

地域で学ぶ視覚障がいのある子どもたちを対象に、長期休業中の活動の機会を広げるとともに、集団で学ぶ機会を確保するため体験学習やワークショップを行います。視覚障がいのある子どもや保護者同士のつながりを深める機会にもなっています。



# 年間行事 events

1年間を通じてたくさんの行事があります。

少人数のメリットを生かし、学部、学年を越えた運動会や文化祭は松山盲学校の自慢の行事です。一人一人が役割を果たし、学校全体を盛り上げます。合言葉は「Let's Enjoy!!」松山盲学校で、一人一人が輝き、充実した学校生活を送っている様子をぜひ見に来てください。

キャリアガイド教室や職場体験、技能検定や現場実習など進路に関係する行事も充実しています。

一学期	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学式 ・遠足 ・身体計測・健康診断</li> <li>キャリアガイド教室(各部年間2回)</li> <li>校外模試(年間3~6回)</li> </ul>	
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会</li> <li>校内弁論大会</li> <li>不審者対応訓練</li> </ul>	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災避難訓練(火災対策) ・中国・四国地区盲学校弁論大会</li> <li>みどり小地域交流(小) ・肱川中地域交流(中)</li> <li>現場実習、校内実習(普) ・幼児体験学習</li> </ul>	
二学期	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学期末考査 ・中国・四国地区盲学校体育大会</li> <li>興居島小地域交流(小) ・松西中等教育学校地域交流(普) ・サマースクール</li> <li>愛顔のえひめ特別支援学校技能検定(普) ・インターンシップ(普)</li> </ul>	
	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏期補習</li> <li>事業所訪問</li> <li>オープンスクール</li> </ul>	
	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災避難訓練(洪水対策)</li> <li>宿泊学習(小・中/隔年) ・地域理療実習(保・専)</li> <li>研修旅行(専) ・修学旅行(保)</li> </ul>	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校公開セミナー</li> <li>自由参観週間 ・坊っちゃん劇場観劇(小・中・普)</li> <li>修学旅行(小・中・普/隔年) ・幼児体験学習</li> </ul>	
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化祭 ・校内点字コンクール ・職場体験学習(中)</li> <li>みどり小地域交流(小) ・現場実習、校内実習(普)</li> <li>権現荘地域交流(中) ・北条高校地域交流(普) ・養護老人ホーム江南荘交流(保・専)</li> </ul>	
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2学期末考査 ・フラワーアレンジメント教室(小・中・普)</li> <li>鴨川中地域交流(中) ・インターンシップ(普)</li> <li>冬期補習 ・ウインタースクール</li> </ul>	
三学期	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由参観週間 ・防災避難訓練(火災対策)</li> <li>愛顔のえひめ特別支援学校技能検定(普)</li> </ul>	
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年末考査 ・少年式(中) ・音楽発表会(小)</li> <li>朗読発表会(小) ・校内ピアノバトル(中・普)</li> <li>国家試験(保・専)</li> </ul>	
	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖学示説(保・専)</li> <li>卒業式</li> </ul>	

(小)…小学部 (中)…中学部 (普)…高等部普通科 (保)…高等部保健理療科 (専)…高等部専攻科理療科

# 部活動 club activities

## 運動部 athletic club

### フロアバレーボール部

6人制バレーボール競技規則を参考にしており、ボールの転がる音に耳を澄ませてレシーブしたり、相手の動きをかわしてアタックを打ったりします。大会出場を目指して練習に励んでいます。

### 卓球部(サウンドテーブルテニス)

音の鳴るピンポン玉を、アイマスクをした状態で打ち合い、点数を競います。球の行方を音で把握し、打ち返します。競技中は、プレイの妨げになるので声出し厳禁です。大会での入賞を目指して練習に励んでいます。



## 文化部 culture club

### 音楽部

歌やピアノなど、部員それぞれの特技を生かした演奏を発表することを目標に練習を重ねています。ギターやドラムの得意な先生方も参加してバンドを結成し、文化祭を盛り上げます。

### 邦楽部

外部講師による専門的な指導で、箏演奏を楽しんでいます。弦を弾く感覚や音の重なりを意識して、練習に励んでいます。文化祭での発表が一番の大舞台です。

### 美術部

絵を描いたり、造形をしたり、感性の赴くままに作品を制作しています。愛媛県高等学校総合文化祭に出展したり、文化祭で展示したりしています。



## 戦績

### ○卓球(サウンドテーブルテニス)

- ・特別全国障がい者スポーツ大会 燃ゆる感動かごしま大会 女子1部 1位
- ・第30回中国・四国地区盲学校体育大会 女子個人戦 1位 2位 3位
- ・令和5年度愛媛県サウンドテーブルテニス秋季大会 男女混合個人戦 1位
- ・令和5年度えひめパラスポ記録会 女子1部個人戦 1位 2位
- ・第29回中国・四国地区盲学校体育大会 男女混合団体戦 優勝
- ・第29回中国・四国地区盲学校体育大会 男女混合個人戦 優勝 準優勝

### ○フロアバレーボール

- ・第29回中国・四国地区盲学校体育大会 3位

### ○その他

- ・特別全国障がい者スポーツ大会 燃ゆる感動かごしま大会 走幅跳 男子1部 1位
- 100m 男子1部 2位



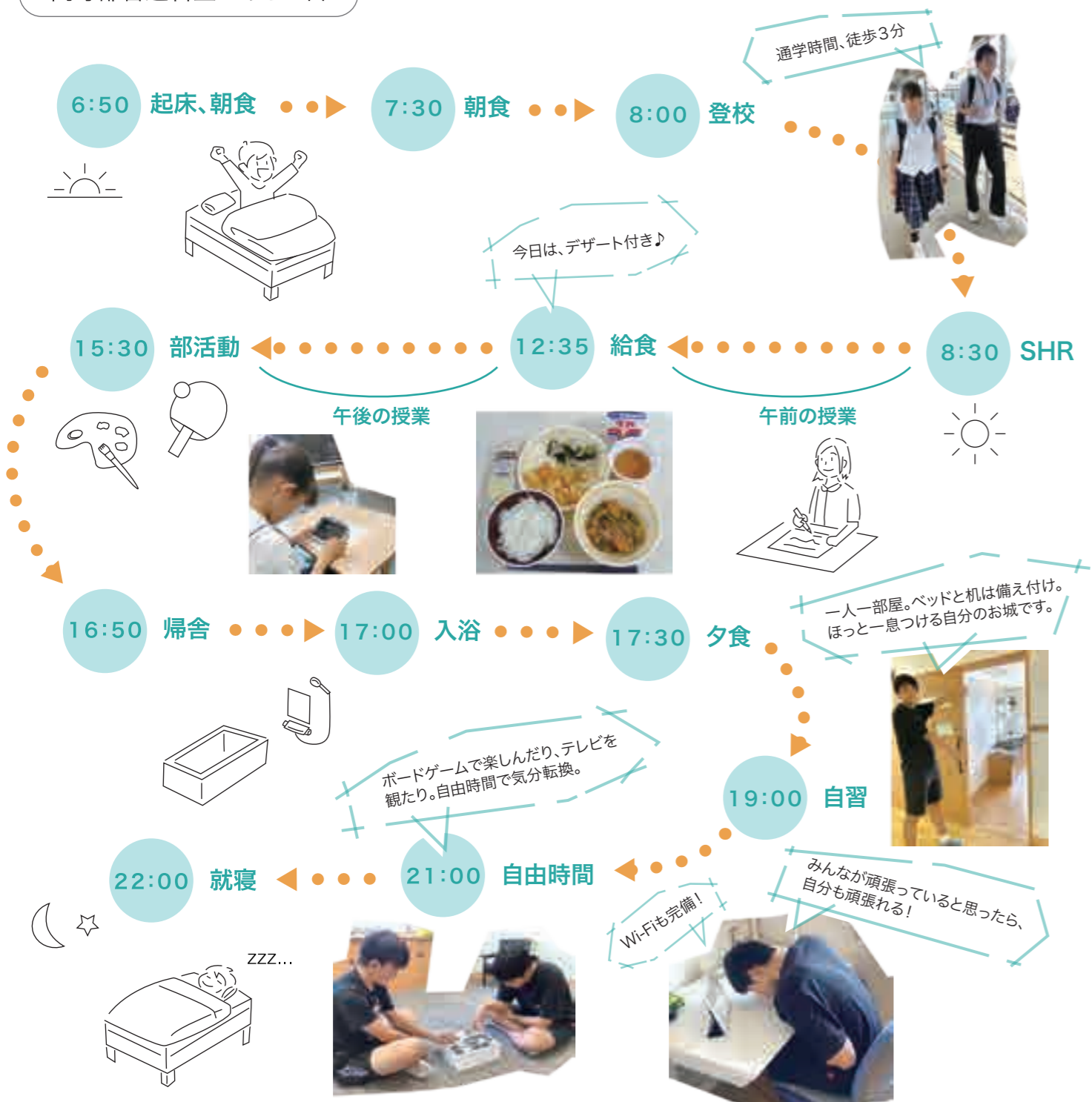
# 寄宿舎 school dormitory

愛媛県全域から児童生徒が通う松山盲学校には、敷地内に寄宿舎が完備されており、男子棟と女子棟に分かれています。

掃除や洗濯などの身の回りのことはすべて自分で行いますが、棟別に指導員が配置され、児童生徒の生活を見守ります。親元を離れたの寄宿舎生活は、大変さがありますが、必然的に自立を促します。年に一度の寮祭では、ダンスをしたりゲームをしたりして盛り上がります！その他、七夕やクリスマスなど季節のイベントを楽しみます。



## 高等部普通科生のある一日



# 進路 career

児童生徒一人一人の能力・適性をよく把握し、発達段階に応じた進路指導を行います。

小学部・中学部・高等部では、年間2回計画しているキャリアガイド教室で、さまざまな職業を知り、視野を広げるとともに、学校の教育活動全体を通して、自分の適性を生かす進路選択ができる力を育てます。

保健医療科・専攻科では、国家試験合格を目指した学習と並行して、望ましい職業観を育成し、生徒の能力、適性、志望に応じた進路選択ができる力を育てます。進学や就職など幅広い進路に対応するために、個人のニーズに合わせた補習や実習等を計画しています。

**国家試験合格率100%**

あん摩マッサージ指圧師 : 100%合格 3年連続(令和2~4年度)  
はり師・きゅう師 : 100%合格 4年連続(令和元~4年度)

## 就労先

愛媛県職員 医療法人和昌会貞本病院 社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院 住友重機械工業(株)(新居浜市:ヘルスキーパー) 株まごころ 株フレアス在宅マッサージ松山	(株)蘭 (株)アコンプリシー笑歩会 (株)コスモスイニシア(東京都:ヘルスキーパー) 有浦野・ウラボマッサージ(大阪府) みぞべ鍼灸療術院 はりとマッサージのお店こりこり	シャフト(グリーンウッド 就労継続支援A型事業所) フェローCreate(就労継続支援B型事業所) コミュニティハウスしおみ(就労継続支援B型事業所) たんぼぼスマイル(就労継続支援B型事業所) 未来翔(就労継続支援B型事業所)
--------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 進学先

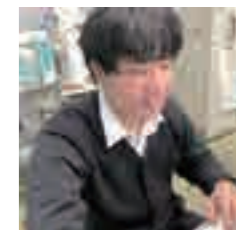
愛媛県立松山盲学校高等部本科保健医療科 愛媛県立松山盲学校高等部専攻科理療科 筑波大学理療科教員養成施設	筑波大学附属特別支援学校高等部専攻科音楽科 福岡県立福岡高等視覚特別支援学校専攻科研修科 四国学院大学社会学部カルチュラル・マネジメント学科
------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------

## 卒業生の声

### 松盲の魅力、発見!

社会人になり、日々仕事に取り組む中、松山盲学校で培ったコミュニケーション能力が特に役立っていると感じています。私が在籍していた当時、松山盲学校では5歳~80歳の幅広い年齢層の人が在籍していました。給食を一緒に食べたり、寄宿舎生活を過ごしたりする日常生活をはじめ、学校行事を盛り上げるためにも、生徒同士のコミュニケーションは重要でした。年齢層が幅広いからこそ、話題の種類や話し方、リアクションの取り方などのコミュニケーションスキルが向上したのだと思います。先生方も優しく、丁寧に指導して下さるアットホームな松盲で、私は知識とスキルと、自信を身に付けました。

玉井 咲哉さん(令和4年度普通科卒業 愛媛県職員)



### 松盲での経験が支える。今の私

理療科での2年間の臨床実習で身に付けた体の使い方が、より自分らしい形になってきました。毎日来られる社員の方々を施術していると、本当に一人一人体つきも体格も違いますので、今日はどんな状態なんだろうと確かめながら施術するようにしています。松山盲学校は、学校全体の和気あいあいとした明るい雰囲気が魅力的で、いつもどこかで笑い声が聞こえてきます。生徒が少人数だからこそ、先生方は一人一人に合ったサポートをしてくださいます。是非、松山盲学校においてください。

石川 真帆さん(令和4年度専攻科理療科卒業 住友重機械工業(株) 愛媛製造所新居浜工場 ヘルスキーパー)



### 松盲での学びと出会い

私は、現在、香川県にある四国学院大学で学んでいます。私は、中学2年生から高等部普通科を卒業するまでの5年間は松山盲学校で過ごしました。盲学校に入学した頃は環境の変化や慣れない寄宿舎での生活に苦労することもありました。しかし、周りの友達や先生方のアットホームな雰囲気の中、学校生活を楽しく送ることができました。特に印象深いことは、自分の見え方に合った授業や、白杖歩行や点字などの盲学校ならではの専門的な学習です。年齢の垣根を越えた仲間と一緒に盛り上がる運動会や文化祭、部活動など、盲学校でしか味わえない楽しいことがたくさんあります。大学生の私が様々なことにチャレンジできているのは、盲学校での学びと出会いがあったからだと思います。

宇佐 亮さん(令和2年度普通科卒業 四国学院大学3年生)

